

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		昭和・平成 年度 ~		根拠法令・例規等		法、 条例、 要綱	
総合計画	大項目	基本目標	コード	事務事業と政策・施策との関係がわかるよう、総合計画で位置付けられる体系を事務事業体系表から記載				問 担当課(室) 合 職・氏名 先 電 話	市民からの問合せ先として、係長名(係のない部署は相当の職にある者)を記載 本庁・総合支所間等複数の部署にまたがる場合は、代表となる部署の係長名を記載
	中項目	基本施策		事務事業体系表で整理した評価対象事務事業名					
	小項目	施策		このシート作成に要した時間					
事務事業名									

事業の意図する成果とつなげる成果指標設定

このシート作成に要した時間(0.5~7.0)をプルダウンメニューから選んでください

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	この事業実施により、働きかける対象は誰・何なのか、具体的かつ限定的(受益者を年代、地域、職業、団体など)に記載 単に「市民」という記載はダメ		
目的(何のために)	この事業の目的は、何のために実施しているのか、わかりやすく記載		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	この事業の実施(行政活動の実施)により、何を目標し、どのような状態(成果)にしたいのか、わかりやすく記載 ここで記載した文章を、成果指標で数値化		

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	補助金交付事業	に対し、を補助する として、 に要する経費の一部(補助率 %、円限度)		
	(施設名)管理運営事業	に対し、することを目的に設置した 施設の管理運営		
	サービス事業	に対し、 を目的として、「 」、「 」、「 」を行う		
	この事務事業を構成する細事業を記載		それぞれの事業内容について、市民目線で、分りやすく記載	事務事業内での優先度を高から選択
	事務事業体系表の細事業と一致		1行1細事業ではありません。必要に応じ行を結合等し、この欄をできるだけ使って事業の説明に努めてください	
	<注> 市役所の仕事を市民に分りやすく説明できていますか?			

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	この事業の事業費を記載		
	必要人員(人件費)	千円	必要人員/人件費は業務量算定表から転記		
	事業費	千円	体系表の細事業計と一致		
財源	国県支出金	千円	事業費を賄う財源内訳を記載		
	受益者負担		'受益者負担'は使用料・手数料の額		
	繰入金		その他は()に名称を記載		
	その他()		一般財源欄は自動計算されるので、特定財源から記載		
一般財源					
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
指標名を記載		説明	指標の内容を簡単に記載		
結果指標	結果指標量	事業	実施した行政活動のうち、最も重要な項目について結果指標として抽出		
	対前年比%	%	結果指標量は「各年度実績」と一致させる		
	活動コスト	円	#DIV/0!		
単位当たりコスト					

事業の成果 (平成22年度事業)					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
行政活動の結果、サービスの受け手である市民に直接的、間接的にどれだけの効果を及ぼしたかを数値で表示 事業の意図する成果を表す指標を設定	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)				
成果指標設定の考え方・式や説明					
なぜ、それを成果指標に設定したかを説明 指標が数式で表される場合はその式を記載 成果指標を設定しない場合はその理由を記載					

事務事業の評価		5段階評価のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い		Check		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障 <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさな <input type="checkbox"/> H22年度の実施結果を踏まえて、この事業の妥当性を評価 <input type="checkbox"/> それぞれ該当する項目をチェック			この事業の妥当性を5段階評価	妥当性評価 <A-E>
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目標は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い			ランク基準は、 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> H22年度の実施結果を踏まえて、この事業の効率性を評価 <input type="checkbox"/> それぞれ該当する項目をチェック			この事業の効率性を5段階評価	効率性評価 <A-E>
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			ランク基準は、 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> H22年度の実施結果を踏まえて、この事業の有効性を評価 <input type="checkbox"/> それぞれ該当する項目をチェック			この事業の有効性を5段階評価	有効性評価 <A-E>
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			ランク基準は、 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	C

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容	5段階評価のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い					
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	この事業の今年度(平成23年度)の状況について1つだけチェック(細事業の1つを取り止める場合は、「縮小」)					
総合評価	この事業の今年度(平成23年度)の状況について記載					
ランク基準は、 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い						

総合評価		D	
「妥当性」「効率性」「有効性」3つの評価視点からの結果や課題認識、さらに今年度(平成23年度)の状況を踏まえて、当該事業を総合評価			

平成24年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充	現状継続	見直し
取組目標	この事業の来年度(H24年度)の方向性について1つだけチェック(細事業の1つを取り止める場合は、「縮小」)		
評価結果を踏まえた翌年度の取組み内容(目標)について、市民が見てわかるように具体的に記載 目標管理シートとリンクする項目となります(係目標、または個人目標となり得ます)			